

プライバシー・データセキュリティ





IT ガバナンス

今日のデジタル領域におけるテクノロジーの進展は目覚ましく、新しいビジネスやサービスが次々と生み出されています。このような世界において、当社グループが持続的な成長に向けて、自らのビジネスモデルの変革を行っていくためには、ITが不可欠の要素であると考えています。「ITガバナンス」は経営者がリーダーシップを発揮し、ITと経営戦略を融合させ、企業の変革と企業価値の向上を実現するための仕組みです。

■ IT ガバナンス

当社グループでは「グループITガバナンス基本方針」を制定し、COBIT5[※]をベースとしたITガバナンスを推進しています。また、豊富な知見とスキルを有する人財をCIO兼CDOとして経営層に配置し、グローバル経営体制を強化しました。新たなリーダーのもと、国内外のグループ会社のITトップとの定期的な会議体を通じて、グループのIT・デジタル戦略の共有とグループ内での協業を加速させることで、企業価値の向上に貢献するITを目指しています。ITによる企業価値の向上を目指す一方、ITシステムの不備によるダウン又は誤作動、あるいはコンピューターが不正使用され、お客さまの信頼や当社の業務運営に影響を及ぼし、当社が損失を被るリスクを「システムリスク」として管理することを徹底しています。システムリスクについては、「グループシステム管理規程」にもとづき、グループ各社に対して、方針・運営体制・プロセスの整備および有効性の継続的な評価と改善を行っています。

また、国内外のグループ生命保険事業会社のIT責任者を一堂に会したカンファレンスを月1回程度開催し、各社の事業特性を尊重しつつ、グループ共同での取り組みなどの検討も進めています。

※ COBIT5：米国情報システムコントロール協会・ITガバナンス協会の提唱するITガバナンスの成熟度を測るフレームワーク。毎年、当社グループでは、独立した外部機関の見解も取り入れながら、フレームワークに沿って独自に適合評価を実施しております。





3

コア・マテリアリティの解決に向けた取り組み
プライバシー・データセキュリティ

サイバーセキュリティ対策

当社グループでは、システム面では不正アクセスやウイルスなどの検知・防御の仕組みを複数導入するとともに、多層防御の整備を進めるなど、新たな脅威への対策を随時講じることで、グループ全体としてサイバーセキュリティ対策の最適化に取り組んでいます。

また、取締役で構成される指名諮問委員会での審議プロセスを経てCIO兼CDO(Chief Information Officer 兼 Chief Digital Officer)を設置し、サイバーセキュリティ、AI・データ領域などにおけるITガバナンス態勢を一層強化しております。

■ サイバーセキュリティ対策

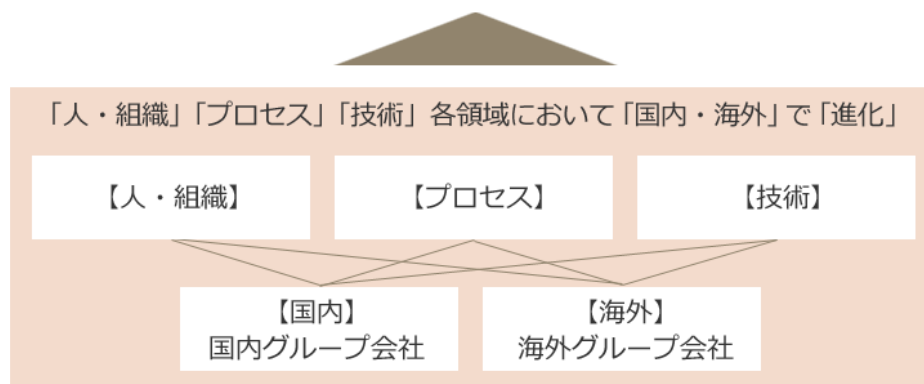
当社グループでは、日々高度化するサイバー攻撃から、グループ内の情報資産を保護し、お客さまをはじめとしたステークホルダーへ、安心・安全・安定を持続的にお届けするために、「人・組織」「プロセス」「技術」の各領域での更なる「進化」を目指しています。

また、「グループサイバーセキュリティ基本方針」を制定し、サイバーセキュリティに関する態勢整備を推進するにあたっての具体的な事項をグループ各社で共有しています。システム面においては、不正アクセスやウイルスなどの検知・防御の仕組みを複数組み合わせる、多層防御の整備を推し進めるなど、新たな脅威に対する対策を随時行っています。加えて外部機関との連携を深めることにより、セキュリティ情報の共有と活用に努め、海外のグループ生命保険事業会社を含むグループ全体として、サイバーセキュリティ対策の最適化に取り組んでいます。

さらに「グループサイバーインシデント対応規程」を制定し、サイバーインシデント対応態勢の強化にも取り組んでいます。高度な技術を備えた専任者を中心に構成される「CSIRT」※を設置し、役員・従業員を対象に攻撃を想定した対応訓練を行うなど、サイバーインシデント対応態勢の強化活動を行っています。

※ Computer Security Incident Response Team

グループとしてのサイバーセキュリティ態勢の一層の強化





3

コア・マテリアリティの解決に向けた取り組み
プライバシー・データセキュリティ

個人情報保護に関する方針

当社グループは、個人情報の保護に努めるべく、「個人情報保護方針」を策定しております。
また、「グループ情報資産保護管理基本方針」にて、個人情報を含む情報資産の保護管理の方針を定めるとともに、個人情報保護方針の遵守に向けて、「第一生命グループ行動規範」で情報の取扱いに関する行動を規定するなど啓発を行っております。

個人情報保護方針（抜粋）

第一生命ホールディングス株式会社では、経営品質の向上に向け、個人情報の保護に関する法律、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等関係法令等を遵守し、個人情報の保護に努めます。

 個人情報保護方針全文は[こちら](#)をご参照ください

グループ情報資産保護管理基本方針（抜粋）

■ 基本的考え方

当社は、顧客情報、株主情報、重要事実、限定情報等の情報資産の重要性およびそれを保有するグループの社会的責任を踏まえ、個人情報の保護に関する法律等の関係法令その他社会的規範を遵守し、情報資産を適切に保護管理する。

 グループ情報資産保護管理基本方針については[こちら](#)をご参照ください

第一生命グループ行動規範（抜粋）

お客さまのための行動

● 情報の適切な取扱い

私たちは、「お客さまからの信頼」を守るために、お預かりした情報は、適切な利用・厳格な管理を行います。

社会からの信頼確保

● 会社資産の適切な取扱い

私たちは、グループ各社の有形・無形の資産を適切に管理し、サイバー関連リスク、不正アクセス、盗難・紛失・悪用等を防ぎ、第三者の情報の機密性・安全性・プライバシーを守ります。

 第一生命グループ行動規範全文は[こちら](#)をご参照ください



3

コア・マテリアリティの解決に向けた取り組み
プライバシー・データセキュリティ

当社で講じている 主な安全管理措置

グループ情報資産保護管理基本方針の考え方に
則り、個人情報の適切な保護管理を行います。

個人情報とは、正確かつ最新の内容を保つよう努め、個人情報を保護するため組織的の安全管理措置、人的安全管理措置、物理的の安全管理措置および技術的の安全管理措置を講じ、適宜見直します。また、当社ではグループコンプライアンス委員会委員長を全グループ事業にかかる情報資産の保護管理に関する総責任者とし、取締役会の下部機関であるグループコンプライアンス委員会（事務局：法務・コンプライアンス統括ユニット）にて、全グループ事業にかかる情報の適正な管理の推進をはかり、個人情報の保護に向けた取り組みを行い、その重大性に応じて取締役会などに報告を行っています。なお、安全管理措置を講じる個人データには、個人データとして取り扱われることが予定されている個人情報を含みます。

- (1) 個人情報の適正な取扱確保のため、個人情報保護方針を定め公表いたします。また、個人データの安全管理に関し、取得・入力、利用・加工、保管・保存、移送・送信、廃棄・消去等の段階ごとの取扱方法を定めた社内規程を整備しております。
- (2) 個人データについての秘密保持に関する事項、及び違反した場合の罰則に関する事項を就業規則に定め、個人データの取扱いに関する留意事項や安全管理措置に関して、全従業員への定期的な研修を実施しております。
- (3) 個人データを取り扱う区域につき、入退室及び持ち込み物等を管理するとともに、情報を取り扱う機器・電子媒体の紛失・盗難等の防止のための対策を実施しております。
- (4) 個人データはアクセス制限を設定のうえ適切に管理を行い、業務上利用する必要が無くなった時点で削除を行う等、データ保持の最小化に努めています。
- (5) 社外からの不正アクセス対策としてファイアウォール設置、社内でのデータアクセス制限・ログの取得、データ転送時の暗号化等のセキュリティ対策により、情報漏えい等を防止いたします。

 サイバーセキュリティ対策については[こちら](#)

- (6) 個人データの取扱状況について、ルール遵守状況の定期点検、及び専門部署により内部監査等を行うことで、適切な情報取扱ルールの徹底をはかっております。
- (7) 個人データの取扱いを委託（再委託を含みます）する場合には、適切な委託先を選定するとともに、委託先に対し当社が講ずべき安全管理措置と同等の措置が講じられるよう契約を締結し、定期的なモニタリングを行う等、委託先において個人データが安全に管理されるように適切な監督を行っております。
- (8) 個人データの取扱いに関する責任者等を設置するとともに、法令等に違反している事実又は兆候が判明した場合の責任者への報告連絡体制を整備しております。
- (9) 個人データの漏えい、滅失、毀損等が発生した場合、又はそのおそれがある場合の報告体制を整備し、迅速な調査と被害拡大防止に努めています。
- (10) 外国にある第三者に個人データを提供する場合には、適切な移転先を選定するとともに、移転先の義務と責任を契約により明確にする等、移転先において個人データが安全に管理されるために必要な措置を講じております。

 外国への個人データ提供については[こちら](#)